



2013年6月11日	分科会「元気会」開催	ガイド：渡辺 肇幸
AAFC		写真撮影提供：越川 健
分科会資料		執筆：山本 一成

2年前の東北大震災以後、春の観桜会を「元気会」と称して毎年実施していたが、今年から会員が元気になる様々なテーマを取り上げていく分科会、新「元気会」と位置づけ活動することとなった。その活動の1回目として「歩こう会」を去る6月11日に実施した。ツアーコンダクターとしてウォーキングツアーに経験豊富な渡辺肇幸さんにコース設定、時間配分、誘導をお願いした。当日は台風が近づいていて、今にも雨が降り出しそうな天気にもかかわらず14名の参加者を得た。皆、久しぶりの遠足気分である。集合場所成田線東我孫子駅をスタート、先ず向かったのは「谷津ミュージアム」、我孫子市民でもその存在をあまり知られていない場所である。ここは窪地の湿地帯で水田として利用され米を生産する場であるだけでなく、様々な生き物を育む場でもあった。我孫子市では、こうした自然環境を再生し、伝統的な農業や暮らしの風景を復活させ、「谷津ミュージアム＝野外博物館」と命名した。市内にもこのような珍しい所があるのだと思いながらこの湿地帯を暫く歩くと、中央学院大学の附属高校前に到着。中には入らなかったが高台のこんもりと木々に囲まれた環境の良い場所にある。次に向かったのは第2の目的地、「五本松公園」。4年前の観桜会でのほろ苦い？思い出の場所でもある。



樹齢の長い太い樹が適度に整理されていて、林の中の大変気持ちのよい空間で、手賀沼側の斜面には貝塚が発見された歴史ある場所でもある。カップルが多い場所だそうで、それも頷ける。「あいあい橋」で記念撮影。



その後ピッチをあげ皆元気に行進。それぞれ、歩きながらの会話も弾む。

「滝不動」を見学、自然風情そのままの「岡発戸の森」に立ち寄り「我孫子ゴルフクラブ」の塀沿いを進む。我孫子の田園風景も捨てたものではないなと思いつつ、更に行進し、休憩場所に想定していた近隣センター「こもれび」に到着。ところが運悪く着いて見ると月2回の「休館日」（幹事として失態）。ていよく館員の慇懃無礼な態度で追い出される。どうも「こもれび」は昔から我がクラブと相性が悪い。気を取り直して次に向かったのは「脇田バラ園」である。脇田園主は2番花も終わって見頃は過ぎてしまったと謙遜しておられたが、立派な丹精込めたバラに一同感嘆。「こもれび」での嫌な気分も何処かへ飛んでしまった。



愈々最終地点天王台の食事処へ最後のひと踏ん張り。到着、着席やいなや「アルコール会」に変貌、そこへ介川さんが途中参加。揃った所で乾杯、直ぐにいつもの様にそれは賑やかなこと。この辺りの事は長くなるので書き連ねるのを止めにするが、余韻冷めやらず、勢い過ぎて大勢で大久保さん宅でまたもや賑やかに騒いでしまったことを申し訳なく反省しきりであった。結局、雨も降らずに無事終了、渡辺さんにも感謝。会の標語「参加して、喋って、笑って健康促進」通りの会であった。 [目次に戻る](#)